

地域おこし協力隊

vol. 13

『横山陽子』の活動日記

9月の初めに波瀬の「波瀬ゆり館（旧波瀬小学校）」でワンデイカフェを開催しました。悪天候の中、大勢のお客様にお越しいただいて、本当にありがとうございました。

このワンデイカフェは、私が波瀬にあるクレソン料理が食べられるお店、「はぜの風」のお手伝いをさせてもらう中で、店主の北川京子さんと「クレソンの旬を過ぎた夏の時期は、お店を閉めているので、カフェをやってみよう」と話が出たのがきっかけでした。その時に移住の先輩、森家族とも一緒にしたいねという話で盛り上がり、ドキドキわくわくしながら計画を立てました。

当日のエプロンにTシャツはお揃いで、友人に飯高飯南のイメージを伝えデザインしてもらい、それにプリントをしました。そのデザインは「Think Lokal」（田舎を考える）が入っています。



他にもこのポスターや食品シール、ステッカーも作り、ちょっとオシャレに可愛いカフェをイメージして準備をしました。そして今回の決め手はフライヤー（チラシ）。とても美味しそうな素敵なものができました。台風の影響で、カフェが開催できるかどうかと、コロナウイルスの対策も考え、場所を「波瀬ゆり館（旧波瀬小学校）」に変更しました。多くの方々の協力のもと、このイベントは開催できました。長くお待たせしてしまったことなど、色々な課題をクリアして次回も開催できたらと思います。その時は是非、波瀬までの景色を楽しみながら遊びに来ていただけたら嬉しいです。



＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック /

松阪市地域おこし協力隊の
 Instagram



松阪市地域おこし協力隊の
 Facebook



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。